



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場会社名 キックマン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2801 URL <http://www.kikkoman.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 染谷 光男

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	70,697	△0.3	5,195	△3.0	4,893	△8.1	2,496	△1.0
23年3月期第1四半期	70,887	△0.5	5,354	△14.1	5,326	△8.2	2,523	△23.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 879百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △2,507百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	12.17	—
23年3月期第1四半期	12.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	295,113	160,387	53.7
23年3月期	298,867	162,600	53.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 158,510百万円 23年3月期 160,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	143,800	0.1	9,300	△9.6	8,200	△9.6	4,700	3.5	22.91
通期	288,000	1.6	19,500	1.5	17,300	3.3	10,700	37.7	52.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

東日本大震災の影響により、平成24年3月期第2四半期(累計)の業績予想は、合理的に予想、算定できないため、未定としておりましたが、予想が可能となりましたので、本資料にて開示いたします。

なお、詳細につきましては、添付資料 5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料 6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	210,383,202 株	23年3月期	210,383,202 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	5,263,814 株	23年3月期	5,259,613 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	205,121,775 株	23年3月期1Q	206,387,480 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 5 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

第1四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における世界経済は、景気が緩やかに回復してきておりますが、欧米の高い失業率の継続等により、景気が下振れする懸念があります。日本経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、輸出などに上向きの動きがみられています。

このような状況下における、当社グループの売上は、国内については、しょうゆ・食品・飲料・酒類が苦戦いたしましたが、その他の事業が前年同期を上回りました。海外については、北米・欧州・亜豪州ともに順調に売上を伸ばしております。

その結果、当第1四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位 百万円, %)

区分	前年同四半期		当第1四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	22年4月1日～ 22年6月30日		23年4月1日～ 23年6月30日		金額	%	売上 比差		金額	%
	金額	売上比	金額	売上比						
売上高	70,887	100.0	70,697	100.0	△189	99.7	—	△2,814	2,624	103.7
営業利益	5,354	7.6	5,195	7.3	△159	97.0	△0.3	△295	135	102.5
経常利益	5,326	7.5	4,893	6.9	△432	91.9	△0.6	△257	△174	96.7
四半期純利益	2,523	3.6	2,496	3.5	△26	99.0	△0.1	△168	142	105.7
	US\$	91.73	81.71		△10.02					
	EUR	117.35	118.11		0.76					

<報告セグメント>

(単位 百万円, %)

区分		前年同四半期		当第1四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
		22年4月1日～ 22年6月30日		23年4月1日～ 23年6月30日		金額	%	売上 比差		金額	%
		金額	売上比	金額	売上比						
国内 食料品製造 ・販売	売上高	37,786	100.0	36,203	100.0	△1,583	95.8	—	—	△1,583	95.8
	営業利益	1,890	5.0	1,424	3.9	△466	75.4	△1.1	—	△466	75.4
国内 その他	売上高	4,832	100.0	5,144	100.0	311	106.5	—	—	311	106.5
	営業利益	286	5.9	456	8.9	170	159.6	3.0	—	170	159.6
海外 食料品製造 ・販売	売上高	12,031	100.0	12,301	100.0	270	102.2	—	△1,108	1,378	111.5
	営業利益	2,073	17.2	2,252	18.3	179	108.7	1.1	△201	381	118.4
海外 食料品卸売	売上高	21,006	100.0	22,142	100.0	1,136	105.4	—	△1,856	2,992	114.2
	営業利益	1,096	5.2	1,043	4.7	△53	95.1	△0.5	△70	17	101.6
調整額	売上高	△4,768	100.0	△5,093	100.0	△324	—	—	150	△475	—
	営業利益	7	—	17	—	9	—	—	△22	32	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売上高	70,887	100.0	70,697	100.0	△189	99.7	—	△2,814	2,624	103.7
	営業利益	5,354	7.6	5,195	7.3	△159	97.0	△0.3	△295	135	102.5
	US\$	91.73		81.71		△10.02					
	EUR	117.35		118.11		0.76					

各報告セグメントの状況は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、前期より導入の「しぼりたて生しょうゆ」が順調に市場に浸透しましたが、しょうゆ市場縮小の影響を受け前年同期の売上に及びませんでした。加工・業務用分野では、加工用分野が新規開拓の強化により好調に推移したものの、外食需要の落ち込みにより業務用分野の市場環境が厳しく、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

■食品部門

つゆ類は、家庭用分野では、主力商品である「本つゆ」や「ストレートつゆ」が好調に推移し、加工・業務用分野でも新規開拓の強化により、つゆ類全体として前年同期の売上を上回りました。たれ類は、家庭用分野では、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」が、前期発売の「香味野菜たっぷりしょうゆだれ」やリニューアルした「コチュジャンたれ」の貢献もあって順調に推移し、たれ類全体として前年同期の売上を上回りました。「うちのごはん」は、積極的な商品開発・店頭販促活動の継続により着実に支持層を広げ、前年同期の売上を大きく上回りました。デルモンテ調味料は、「洋ごはん☆つくろ」シリーズが順調に推移しましたが、主力のトマトケチャップが東日本大震災の影響で一部製品の製造が制約された影響もあり、前年同期の売上を下回りました。

この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、前期発売のチルドカップを使った新商品4品を含め積極的な販促を予定しておりましたが、計画停電により要冷蔵品の需要が大幅に減退したことにより、売上が前年同期を下回りました。デルモンテ飲料は、東日本大震災後の生産体制・資材調達体制を早急に整えたこと、新商品「スイートキャロット」が貢献したこともあり、デルモンテ飲料全体として前年同期の売上を上回りました。

この結果、収益改善に向けた一部商品の販売終了の影響もあり、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭用分野では前年並みを維持しましたが、加工用分野でのユーザー向け販売の不調や業務用分野での外食需要落ち込みによる販売の苦戦もあり、本みりん全体として前年同期の売上を下回りました。ワインは、「醸造家のハウスワイン」「酵母の泡」等の「新生マンズワイン」商品群や調理用ワインは順調に推移したものの、カジュアルワインの一部販売終了等の影響もあり前年同期の売上を下回りました。

この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は362億3百万円（前年同期比95.8%）、営業利益は14億2千4百万円（前年同期比75.4%）と、ともに前年同期を下回りました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素等、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸、運送事業及びグループ会社内の間接業務の提供等を行っております。

衛生検査薬は前年同期の売上を大きく下回ったものの、臨床診断薬、ヒアルロン酸が好調に推移し、化成品等全体として前年同期の売上を上回りました。また、運送事業は、売上、利益ともに順調に推移いたしました。

この結果、国内 その他事業の売上高は51億4千4百万円（前年同期比106.5%）、営業利益は4億5千6百万円（前年同期比159.6%）と、ともに前年同期を上回りました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外向けの輸出販売及び海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用分野では、引き続き主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料を拡充するなど、当社のブランド力を生かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かい対応を行ってまいりました。その結果、現地通貨ベースでは前年同期の売上を大きく上回りました。

欧州市場においては、家庭用、業務用、加工用の各分野で前年同期を上回りました。特にロシアにおける業務用向けの出荷は、前年同期を大きく上回り、欧州市場での大幅な伸長に貢献しました。

アジア・オセアニア市場においては、アセアン地域を中心に売上を伸ばし、前年同期の売上を大きく上回りました。

この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。

韓国市場で売上が回復し、中国市場での売上が増加する中、主要市場である香港も堅調に推移したことから、部門全体として、前年同期の売上を上回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

昨年下半年から進めてきた、主要ブランドのひとつの大幅リニューアルの効果が出始めたこと、医師からの斡旋販売による売上が引き続き堅調であることなどから、現地通貨ベースでは前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は123億1百万円（前年同期比102.2%）、営業利益は22億5千2百万円（前年同期比108.7%）と、増収増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

放射能被害の懸念によって、欧州やアジア各国で日本からの食品に対する輸入規制が厳しくなっておりますが、日本以外からの調達が増えていることもあり、大きな影響は受けませんでした。また、香港など一部地域で日本産品の風評被害の影響が見られるものの、北米や欧州、オセアニアでは売上が順調に伸長しました。その結果、部門全体の売上は前年同期を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は221億4千2百万円（前年同期比105.4%）と前年同期を上回りました。営業利益は10億4千3百万円（前年同期比95.1%）と前年同期を下回りましたが、現地通貨ベースでは増益となりました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、売上高は706億9千7百万円（前年同期比99.7%）、営業利益は51億9千5百万円（前年同期比97.0%）、経常利益は48億9千3百万円（前年同期比91.9%）、四半期純利益は24億9千6百万円（前年同期比99.0%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、1,068億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億5千万円減少いたしました。これは主に、たな卸資産が増加したものの、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、1,882億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億3百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,951億1千3百万円となり、前連結会計年度に比べ37億5千3百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、597億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ182億4千5百万円増加いたしました。これは主に、一年以内償還社債が増加したことによるものであります。固定負債は、749億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ197億8千6百万円減少いたしました。これは主に、社債が減少したことによるものであります。

この結果、負債の部は、1,347億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億4千1百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の部は、1,603億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億1千2百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.7% (前連結会計年度末は53.8%) となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期(累計)の業績予想については、未定としておりましたが、夏期の電力使用量の抑制等につきましてその対応が決まり、予想が可能となりましたので開示いたします。

第2四半期(累計)業績予想(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益
第2四半期(累計)予想	143,800	9,300	8,200	4,700	22.91円
前第2四半期(累計)実績	143,609	10,290	9,067	4,539	22.00円
増減 (前第2四半期(累計)実績比)	190 (100.1%)	△990 (90.4%)	△867 (90.4%)	160 (103.5%)	0.91円 (-)

通期の連結業績につきましては、最近の決算短信(平成23年5月12日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書(平成23年6月23日提出)により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

連 結（新規） キッコーマンバイオケミファ(株) （新規設立）
（除外） REACTION SALES CL UK LIMITED （清算）

なお、(株)フードケミファは平成23年4月1日付で、キッコーマンソイフーズ(株)に社名変更いたしました。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

- (4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

連結納税制度の適用

当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,247	23,444
受取手形及び売掛金	39,029	39,220
有価証券	131	131
商品及び製品	19,063	21,114
仕掛品	8,699	9,337
原材料及び貯蔵品	3,221	3,143
繰延税金資産	4,988	5,083
その他	4,485	5,812
貸倒引当金	△421	△393
流動資産合計	109,445	106,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,920	40,782
機械装置及び運搬具(純額)	33,686	33,251
土地	15,548	15,301
リース資産(純額)	172	157
建設仮勘定	3,712	3,608
その他(純額)	2,283	2,231
有形固定資産合計	96,323	95,333
無形固定資産		
のれん	25,189	24,771
その他	2,593	2,723
無形固定資産合計	27,782	27,494
投資その他の資産		
投資有価証券	51,944	51,993
長期貸付金	1,318	1,371
繰延税金資産	2,820	2,809
その他	10,703	10,828
貸倒引当金	△1,472	△1,612
投資その他の資産合計	65,315	65,390
固定資産合計	189,421	188,218
資産合計	298,867	295,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,626	15,779
短期借入金	5,054	5,031
一年以内償還社債	—	20,000
リース債務	71	71
未払金	12,711	11,147
未払法人税等	2,030	1,499
賞与引当金	2,187	957
役員賞与引当金	80	21
投資損失引当金	267	132
災害損失引当金	493	286
その他	3,981	4,822
流動負債合計	41,504	59,749
固定負債		
社債	60,000	40,000
長期借入金	19,555	19,700
リース債務	123	110
繰延税金負債	2,287	2,246
退職給付引当金	3,922	4,144
役員退職慰労引当金	1,099	1,047
環境対策引当金	348	346
工場閉鎖損失引当金	209	209
その他	7,216	7,170
固定負債合計	94,762	74,975
負債合計	136,266	134,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	21,210	21,210
利益剰余金	156,248	155,663
自己株式	△5,214	△5,217
株主資本合計	183,844	183,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,230	△1,222
繰延ヘッジ損益	△0	2
為替換算調整勘定	△21,194	△22,860
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	△688	△663
その他の包括利益累計額合計	△23,113	△24,744
新株予約権	179	179
少数株主持分	1,690	1,697
純資産合計	162,600	160,387
負債純資産合計	298,867	295,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	70,887	70,697
売上原価	41,323	41,548
売上総利益	29,563	29,149
販売費及び一般管理費	24,209	23,953
営業利益	5,354	5,195
営業外収益		
受取利息	65	26
受取配当金	300	288
持分法による投資利益	285	36
受取賃貸料	150	127
為替差益	289	304
その他	237	230
営業外収益合計	1,328	1,013
営業外費用		
支払利息	368	349
その他	987	965
営業外費用合計	1,356	1,315
経常利益	5,326	4,893
特別利益		
有形固定資産売却益	585	7
投資有価証券売却益	—	15
その他	30	—
特別利益合計	615	23
特別損失		
固定資産減損損失	—	328
固定資産除却損	222	9
投資有価証券評価損	168	1
ゴルフ会員権評価損	6	3
退職特別加算金	372	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	128	—
上海万博出展費用	222	—
関係会社社名変更費用	—	68
災害による損失	—	234
その他	93	81
特別損失合計	1,213	727
税金等調整前四半期純利益	4,729	4,188
法人税等	2,193	1,680
少数株主損益調整前四半期純利益	2,535	2,508
少数株主利益	12	11
四半期純利益	2,523	2,496

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,535	2,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△981	75
繰延ヘッジ損益	△20	△2
為替換算調整勘定	△3,848	△1,691
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	1	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△194	△35
その他の包括利益合計	△5,043	△1,629
四半期包括利益	△2,507	879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,510	866
少数株主に係る四半期包括利益	2	13

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,509	2,016	10,453	20,907	70,887	—	70,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	276	2,815	1,577	98	4,768	(4,768)	—
計	37,786	4,832	12,031	21,006	75,656	(4,768)	70,887
セグメント利益	1,890	286	2,073	1,096	5,346	7	5,354

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	35,878	2,080	10,671	22,066	70,697	—	70,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	324	3,063	1,630	75	5,093	(5,093)	—
計	36,203	5,144	12,301	22,142	75,791	(5,093)	70,697
セグメント利益	1,424	456	2,252	1,043	5,177	17	5,195

(注) 1. セグメント利益の調整額17百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。